

メコン地域における官民協力・連携促進フォーラム第 4 回日メコン全体会議 渡邊委員長挨拶

【冒 頭】

日本商工会議所の日本メコン地域経済委員会委員長を務めております、伊藤忠商事株式会社の渡邊と申します。日本側産業界を代表して、ごあいさつ申し上げます。

まず、ソマート・ポンセナー・ラオス公共事業・運輸大臣をはじめ、メコン地域各国の政府代表、産業界代表の皆様のこのたびの来日により、昨年に引き続き、「第 4 回日メコン全体会議」がこのような盛大に開催されますことを、日本の産業界を代表して、心から歓迎申し上げたいと思います。

【総 論】

メコン地域は、中国とインドという巨大市場に隣接しており、地政学的にも重要な場所に位置しています。そして、ASEAN が 2015 年末の経済共同体構築に向けて最終段階を迎える中、メコン地域各国にとって他の ASEAN 諸国との経済格差を縮小していくことが必要不可欠であるといえます。

こうした中、メコン地域では、2010 年に取りまとめられた ASEAN 連結性マスタープラン (MPAC : Master Plan on ASEAN Connectivity) に基づく経済回廊の整備が進められており、これがこの地域のポテンシャルを高める要素となっております。例えば、メコン地域を横に結ぶ東西経済回廊、南部経済回廊は、域内の分散立地 (フラグメンテーション) を容易にし、サプライチェーンの機動力を高めることから、製造業や域内で新たなビジネスモデルを模索するサービス業の投資意欲を高めております。その結果、近年、多くの日本企業がメコン地域への投資を拡大するなど、日本とメコン地域の経済関係は年々、確実に強化されています。

このようなインフラの整備や日本企業の投資拡大が、メコン地域各国の経済成長を一層後押しし、他の ASEAN 諸国との経済格差を確実に縮小していくものと信じております。

【商工会議所の活動】

日本商工会議所では、このメコン地域において、大企業のみならず高い技術力を持つ中小企業が進出し、地域と一体となった成長を実現させていくことを目的に、昨年 (2013 年) 3 月、日本メコン地域経済委員会を設置しました。

設置以来、メコン各国の政府・産業界との関係強化に努めております。例えば、昨年 10 月には、ベトナムに 80 人規模の経済ミッションを派遣し、計画投資省 (MPI) との第 1 回協議会を開催し、ベトナムの工業化戦略に対する日本企業の期待を伝えるとともに、裾野産業育成に向けた方策のあり方等について意見交換いたしました。また、本年 1 月末には、ミャンマー連邦共和国商工会議所連合会 (UMFCCI) との第 10 回目の合同会議を開催し、「工業」「農業」「サービス産業」の各産業分野における両国企業間の協力・連携のあり方、可能性をテーマに協議したほか、両国中小企業の育成という観点から、中小企業間の連携・協力についても意見交換しました。

さらに、3月2日から8日には、カンボジアとラオスに経済ミッションを派遣いたします。両国の政府要人や商工会議所幹部との懇談、経済関係省庁とのフォーラムの開催、現地経済特区や進出日系企業の視察を通じて、各国の投資環境、外資政策や経済政策への理解を深め、日本企業のビジネス環境改善に向けた意見活動を行うことしております。

今後、日本商工会議所では、メコン各国の商工会議所との関係強化を図り、産業界の連携を密にすることで、相互理解の促進、経済連携強化、さらには、日本とメコン地域の経済発展に向けて、貢献していきたいと考えております。

【日・メコン協力における官民連携】

メコン地域は、我が国企業にとって、重要な生産拠点であるとともに、力強い消費市場でもあります。この地域において、ビジネスの拡大が期待されている分野としては、インフラ整備、資源開発、自動車関連産業、食品加工産業、小売業、バイオエタノールや太陽光発電等の新エネルギー部門、エコシティーなどの環境ビジネス、ライフサイエンス等、多くの分野が挙げられます。そして、日本の官民で連携してこれらの分野への支援を行っていくことは、同地域の経済発展に大きく寄与していただけるものと信じています。

本年は、日ミャンマー外交関係樹立 60 周年、来年は日ラオス外交関係樹立 60 周年であり、様々な記念行事の開催に向けて、官民で協力を行っているところであります。これらの行事は、国民レベルの交流を図る良い機会であります。本日午後の分科会では、観光をテーマとしたセッションが設けられており、日本とメコン地域各国の間の観光客増加に関する発表や、日本との直行便就航に向けた取り組みが紹介される予定と承知しております。

なお、メコン地域が持続的な経済成長を続けていくためには、中小企業の育成が重要な課題と言えます。日本には、高い技術を持った中小企業が数多くあり、そのような日本の中小企業のメコン地域各国への進出は、メコン地域内の産業基盤を強化していくうえでも、大きな可能性を持っています。本日の会合には、経済特区や工業団地開発の関係省庁の方々にもご参加いただいております。中小企業向けの工場アパートの開発や、投資手続きの簡素化、ワンストップサービスの設置、さらには、中小企業の投資に対するインセンティブなど、ぜひ、日本の中小企業が進出しやすい投資環境づくりを進めていただければ幸いです。

【結 び】

2009 年の「日メコン交流年」に端を発し、着実に日本とメコン地域各国の官民の関係強化が進んでいます。それは同時に、メコン地域の発展につながっており、日本の経済発展にも寄与していくものと確信しております。

最後になりましたが、本日の会合が日本とメコン地域各国との一層の相互理解とさらなる発展につながる場となりますことを祈念いたしまして、私のあいさつとさせていただきます。

ご静聴、ありがとうございました。